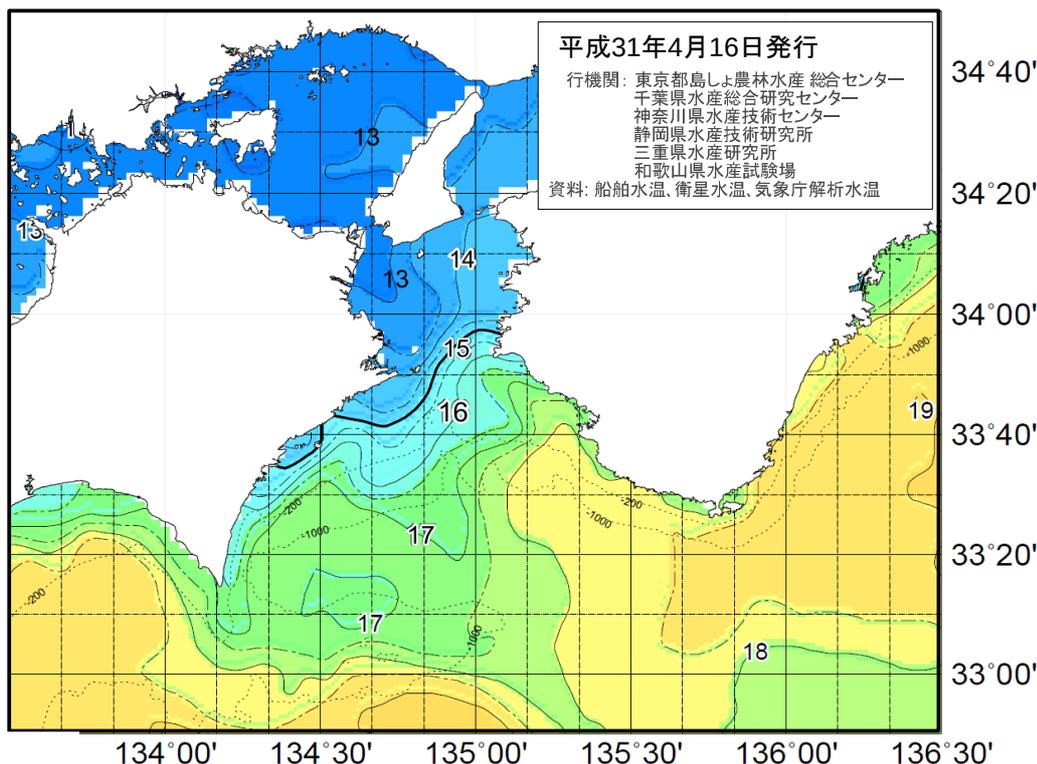


海況

1. 周辺海域の水温(4月10～4月16日)

黒潮は、室戸岬沖では先週に引き続き「離岸」で推移していたが、15日に北上して「やや離岸」となった。潮岬沖では引き続き「著しく離岸」で推移した。

16日の徳島沿岸の水温は、播磨灘12～13℃台、紀伊水道で12～15℃台、海部沿岸で13～15℃台であった。海部沿岸では、紀伊水道から内海系水が下がった影響で水温が1℃程度低下した。黒潮の表面水温は20～22℃台であった。



※黒潮の離接岸の表現

(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸：86NM～
※水温フロント：水温の異なる水塊の境界部。水平方向に急激に温度が変わる。

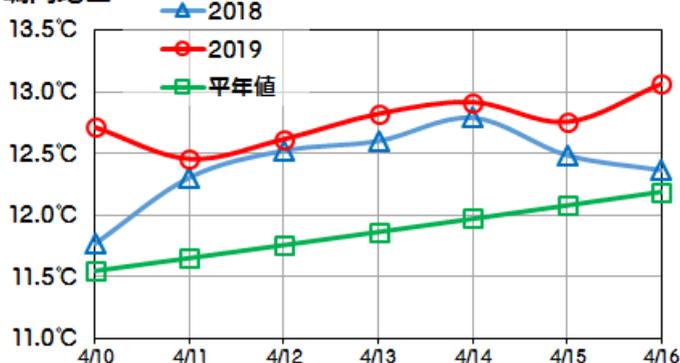
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、直近4日分を掲載しています。

2. 地先水温(4月10日～4月16日)

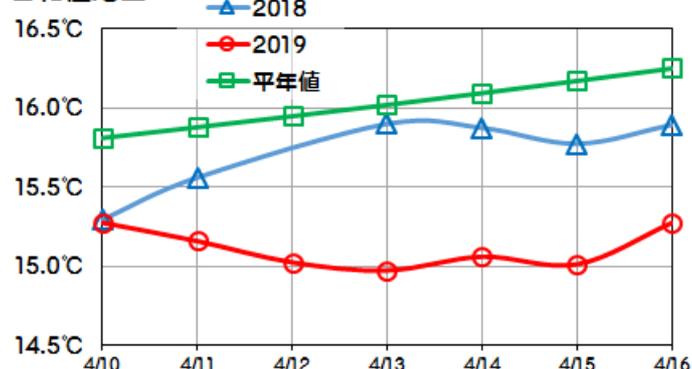
鳴門地区の地先水温は、「やや高め」の12.5～13.1℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、「やや低め」の15.0～15.3℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(4月17日～4月23日)

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」から「離岸」で推移する見込み。潮岬沖は引き続き「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の12～13℃台、日和佐地区は「やや低め」の15℃台で推移する見込み。

漁況

2019年4月8日～2019年4月14日（旧暦3月4日～3月10日）

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

紀伊水道でハモ漁が始まった。

釣りでは、タチウオが0.3ト水揚げされた。

延縄では、タチウオが増えて3.9ト、マサバが大主体に0.7ト、サワラが特大主体に0.7ト、ハモが大きく増えて大主体に0.6ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリがめじろ主体に0.8ト、ヒラメが大主体に0.6ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、タチウオが1.7ト、サワラが大主体に0.3ト水揚げされた。

建網では、メジナが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マイワシが減って4ト、カタクチイワシが大きく増えて1.5ト、マアジが減って0.4ト水揚げされた。

大型定置網では、マサバが大きく増えて12.4ト、マアジが3.1トン、ブリが減ってめじろ主体に2.2ト、クロダイが大きく増えて大主体に2ト、イシダイが増えて大主体に0.8ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	8	タチウオ	291	36		→
	延縄	67	タチウオ	3,885	58		↗
		59	マサバ	727	12	大主体	→
		35	サワラ	693	20	特大主体	→
		11	ハモ	592	54	大主体	↗↗
	小型定置網	12	ブリ	794	66	めじろ主体	↘
		15	ヒラメ	554	37	大主体	↗
		5	ボラ	305	61	大主体	↗↗
	底びき網	25	ハモ	239	10	中主体	↗↗
	海部沿岸	釣り	24	タチウオ	1,724	72	
19			サワラ	287	15	大主体	↘↘
建網		75	メジナ	215	3		↘
小型定置網		18	マイワシ	3,950	219		↘
		12	カタクチイワシ	1,498	125		↗↗
		19	マアジ	404	21		↘
大型定置網		6	マサバ	12,405	2,067		↗↗
			マアジ	3,140	523	特大主体	↗↗
			ブリ	2,175	362	めじろ主体	↘
			クロダイ	1,977	330	大主体	↗↗
		イシダイ	820	137	大主体	↗	
		いわし類	410	68		↘↘	
		マダイ	357	60		↗↗	
	カンパチ	305	51		↗		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘